

問題10 次の(1)から(5)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、
1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

マスコミで毎日のように環境問題が取り上げられているが、本当に「環境問題」と言っ
ていいのだろうか。

地球温暖化にしろ、森林破壊にしろ、エネルギー資源の不足にしろ、これらはどれも
人類によって起こされた問題(注)である。しかし、このような問題を環境問題と呼ぶことで、
人は無意識のうちにその問題から目をそらしているのではないか。むしろ「人間問題」と
呼ぶことで自分の問題としてとらえることになり、未来の環境を変えることができるので
はないだろうか。

(注) 森林破壊はかい：森林が壊こわされて少なくなったりなくなったりすること

55 筆者は、なぜ環境問題を「人間問題」と呼んだほうがよいと考えているか。

- 1 環境は人間にしか変えられないから
- 2 良い環境を必要としているのは人間だから
- 3 人間が責任を持って考えるべき問題だから
- 4 人間の生活に多大な影響えいきょうを与えている問題だから

(2)

以下は、ある会社が出したメールの内容である。

お客様^{かくい}各位

いつも「ジミック」のプリンターをご愛用いただき、ありがとうございます。

さて、弊社^{へいしや}では、お客様がプリンター用インクを追加購入^{こうにやう}なさる際に、定価の5%引きでお求め^(注)いただいておりますが、この7、8月中に購入^{こうにやう}のお申し込みをされたお客様には、さらにお得な特別割引価格でお届けいたします。この機会にご利用^ごいただければ幸いです。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.jimmickjp.com>

今後とも「ジミック」の製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

(注) 購入^{こうにやう}する：買う

56 この会社の割引サービスについて正しいものはどれか。

- 1 「ジミック」のプリンターを使っている人は、7、8月中だけインクを5%引きで買うことができる。
- 2 「ジミック」のプリンターを使っている人が7、8月中にインクを注文すれば、5%引きより安く買うことができる。
- 3 「ジミック」のプリンターを7、8月中に買う人は、インクを5%引きより安く買うことができる。
- 4 「ジミック」のプリンターを7、8月中に買う人がインクを一緒に^{いっしょ}注文すれば、どちらも5%引きで買うことができる。

(3)

恐れてはいけないとか、不安を持ってはいけないと言われることがあるかもしれない。しかし、恐怖や不安は、車にたとえばブレーキである。車の安全にとって重要なのはアクセルではなく、ブレーキなのだ。アクセルをふかしてスピードを出すことより、危険を察知してブレーキをかけて止まったり、スピードを落としたりすることで事故は防げる。その意味で、ブレーキのない車を走らせることはできないのだ。われわれ人間も恐怖や不安という名のブレーキを使って、自分たちの安全に役立てることが大切だ。

(広瀬弘忠『人はなぜ危険に近づくのか』講談社による)

(注1) アクセルをふかす：アクセルを強く踏んでエンジンを速く回転させる

(注2) ～を察知する：～に気がつく

57 筆者は、恐怖や不安をどうとらえているか。

- 1 恐怖や不安は、安全性の向上を妨げる。
- 2 恐怖や不安を感じることで、安全につながる。
- 3 恐怖や不安を取り除くことが、安全に役立つ。
- 4 恐怖や不安があるうちは、安全とは言えない。

(4)

人に強い影響を与えるのは大部(注1)からなる作品とは限りません。何気なく(注2)読んだ、たった一言に心打たれることもあります。そして、書物を越えて、私たちは世の中のあらゆるできごとについても同じように、そのときどきに応じた深度で読んでいるのです。つまり、読みとろうと思えばどんなできごとからでも「自分にとって意味あること」を読みとれるということではないでしょうか。学ぼうとする姿勢があれば何からでも価値あることが学びとれるのだとつくづく私は思うのです。

(村田夏子『読書の心理学—読書で開く心の世界への扉』サイエンス社による)

(注1) 大部たいぶ：書物の冊数やページ数が多いこと

(注2) 何気なくなにげ：はっきりとした目的や理由を持たないで

58 人に強い影響えいきょうを与えるのは大部たいぶからなる作品とは限りませんとあるが、なぜか。

- 1 強い影響えいきょうを与えるかどうかは、読み手の姿勢で決まるものであるから
- 2 どのような作品でも、読めば読むほど強い影響えいきょうを受けるものであるから
- 3 人々にどのような影響えいきょうを与えるかは、書物によってそれぞれ異なるから
- 4 書物だけでなく、世の中のできごとからもさまざまな影響えいきょうを受けているから

(5)

ぼくはいつも思うのだが、視覚にとらえたものをただ単に描いても、決して絵画にはならない。視覚(注1)のかなたにかくされているものをとらえて、それを画面に定着させたとき、はじめて絵画が誕生する。絵画とは目の前の自然を心のなかに消化し、それをもう一度吐きだす作業によって生まれるのだ。そうすることによってはじめて普遍的な美の世界(注2)が出現(注3)するのだと思う。だから芸術というものは、理屈では解決できないものなのだ。理屈を超えたところに本当の美がある。

(石本正『絵をかくよろこび』新潮社による)

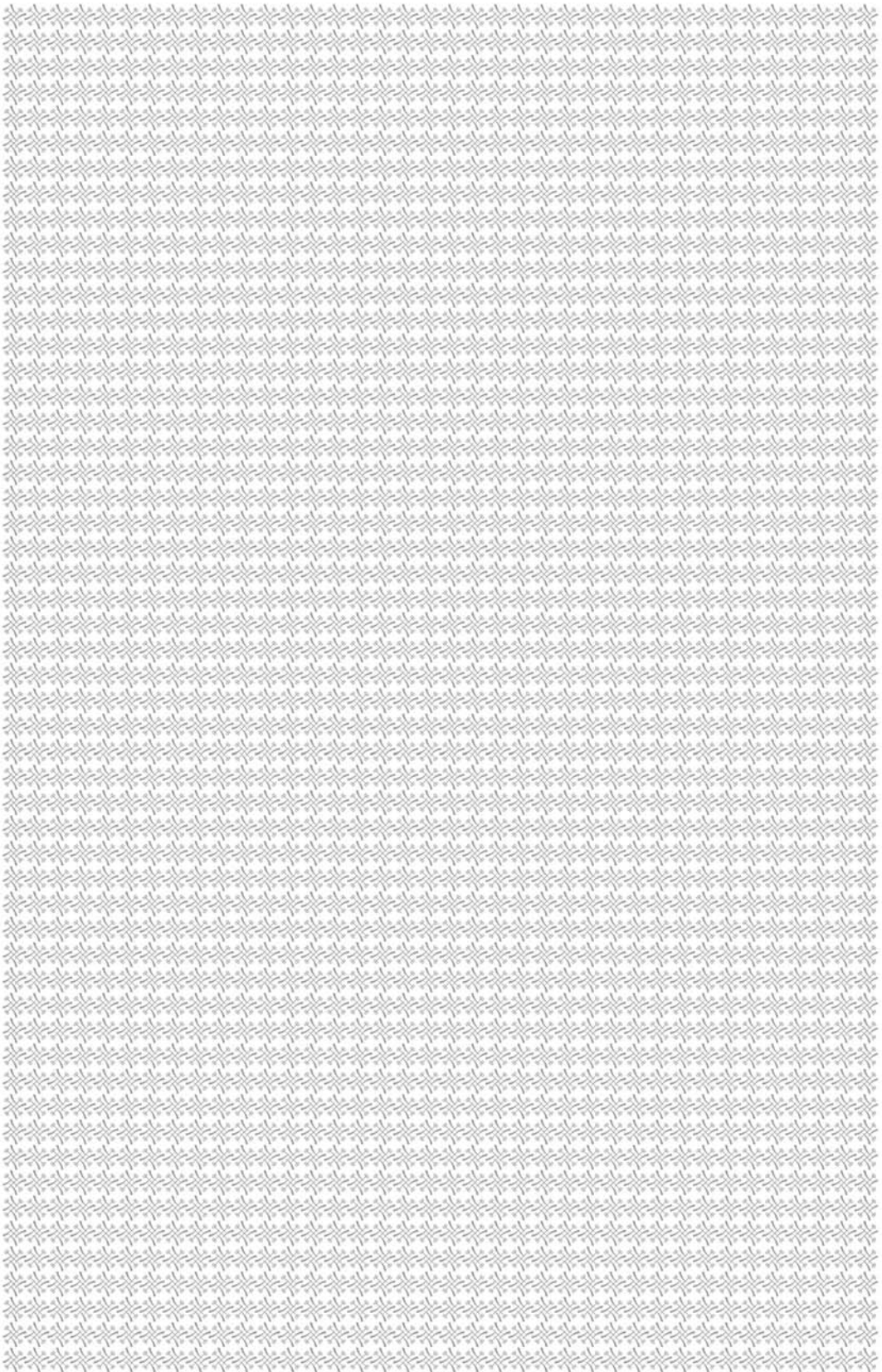
(注1) かなた：向こう

(注2) 普遍的な：広くすべてのものに共通して見られる

(注3) 理屈：論理的な説明

59 筆者が考える絵画とはどのようなものか。

- 1 目で見えたものを想像力で補い美しく描き表したもの
- 2 目で見えたものを心のなかに感じ取って描き表したもの
- 3 目の前に存在しないものを想像しながら描き表したもの
- 4 目の前にあるものをできるだけ現実に近づけて描き表したもの



問題11 次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、
1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

「日本の消費者は世界一、目が肥えている」という言葉には2つの意味がある。第1は機能や味などへの要求水準が高いこと。(注1)第2には、わずかな傷も許さないなど見た目へのこだわりだ。

消費者は後者のこだわりを捨てつつある。それでは消費者は嫌々「傷物」に目を向け、我慢して買っているのか。必ずしもそうではない。

衣料品や家具などでは中古品市場や消費者同士の交換が盛んだ。再利用でゴミが減り、環境にもいい。商品の傷も前の使用者のぬくもりとプラスにとらえる感性が若い人を中心に広がっている。(注2)(注3)

規格外の農産物も似ている。ゴミになるはずのものを安く使い、エコロジーと節約を両立させることに、前向きの価値を見いだしているのではないか。不ぞろいな野菜は、むしろ手作り品を思わせる長所。消費者の新たな価値観に、企業がようやく追いついてきた。

市場が広がれば、粗悪品や不良品が出回る可能性も高まる。なぜ安いのか。本来の価値は損なわれていないか。企業の責任は重い。消費者にも「厳しい目」をきちんと持つことが求められる。

(日本経済新聞2009年8月27日付朝刊による)

(注1) 目が肥えている：よい物を見慣れていて、物の価値がわかる

(注2) ぬくもり：あたたかい感じ

(注3) 感性：感じ方

(注4) 規格：基準

(注5) 粗悪品：粗末で質が悪いもの

- 60 以前と比べ、消費者はどのように変わったか。
- 1 商品の機能や味を重視しなくなった。
 - 2 商品の機能や味を重視するようになった。
 - 3 商品の傷などの見た目を気にしなくなった。
 - 4 商品の傷などの見た目を気にするようになった。
- 61 筆者は、消費者の意識の変化をどのようにとらえているか。
- 1 少しぐらい質が下がっても、安いほうが良いと考えるようになった。
 - 2 ものに対する要求水準が下がって、どの商品にも価値を認めるようになった。
 - 3 多少問題があっても、環境のために我慢するほうが良いと思うようになった。
 - 4 今まで問題があると思われたものにも、違った価値があると思うようになった。
- 62 追いついてきたとあるが、企業がどうなってきたのか。
- 1 見た目にこだわらなくなった。
 - 2 環境への責任の重さを感じ始めた。
 - 3 消費者の厳しい目を意識するようになった。
 - 4 消費者の意識の変化をくみ取るようになった。

(2)

私はどちらかと言えば根が楽天的だが、昔は営業の強烈なノルマに苦しんだこともある。
 そういう日々の中からいつしか身につけたことのひとつが「①幸せ感のハードルを低くする」②だった。

たとえば、あと一步のところ③で契約が結べなかった日、会社に戻ってしょげかえる代わりに「あの社長と一時間も話せるところまで来た」と自分の成果を見つけて評価する。そうやって一日を締めくくれば、明日への活力も湧いてきた。
④

仕事そのものも、「仕事は趣味や遊びとはちがう。仕事はお金をもらうのだから、楽しくないことがあっても当たり前」と思ってやってきた。⑤そこを基準にすれば、少々のは当然のこととして受け入れられるし、何かいいことがあったときは「お金をもらいながらこんな気持ちを味わえるなんて」と幸せ感も倍増する。

どうせ人生の一定の時間を仕事に費やすのなら、その時間が楽しいと思えるほうがいいに決まっている。それに楽しいと思っ⑥てすることは、何かとスムーズに運び成果もあがるものだ。こうして好循環が生まれてくる。

人は楽しいから笑顔になるのだが、「まず笑顔をつくると、それによって楽しい気持ちが湧いてくる」という研究結果があるという。これにならえば、充実感を得られる仕事を手にするには、楽しめる仕事を探すのも大事だが、小さなことでも楽しめるようになることも意外にあなどれないポイントだ。
⑦

(高城幸司『上司につける薬！－マネジメント入門』講談社による)

(注1) 強烈なノルマ：厳しい条件で課される仕事

(注2) ハードル：ここでは、基準

(注3) しょげかえる：ひどくがっかりする

(注4) 締めくくる：終える

(注5) あなどれない：軽視できない

63 ①いつしか身につけたことのひとつの例として近いものはどれか。

- 1 ピアノの先生には何も言われなかったけれども、自分ではうまくひけなかったので次はもっと頑張り^{がんば}たいと思う。
- 2 パーティーの準備をするのが大変だったけれども、みんなが喜んでくれたのでまたぜひ開きたいと思う。
- 3 強いチームが相手に試合に勝てなかったけれども、得点を入れることができたのでよかったと考える。
- 4 何かを買おうと思っていたわけではないけれども、ちょうど気に入った服が見つかったのでよかったと考える。

64 ②そことは何か。

- 1 仕事には苦労^{くろう}があるものだということ
- 2 仕事をすれば何かいいことがあるということ
- 3 仕事ではお金をもらうのが当然だということ
- 4 仕事はうまくいなくて当たり前だということ

65 この文章で筆者の言いたいことは何か。

- 1 仕事も精一杯頑張り^{がんば}ればそれだけ充実感を得ることができる。
- 2 仕事もまず表情を意識することで楽しい気持ち^わが湧いてくる。
- 3 自分が本当に好きな仕事であれば笑顔で楽しむことができる。
- 4 小さいことに喜びを持つことで楽しく仕事ができるようになる。

(3)

たとえば、「走る」ことは、一見単純で誰にでもできる運動ではあるが、「速く走る技術」となると、なかなか身につけることが難しい。教えられたように走るフォームを改善することが簡単ではないからだ。

誰でもできる運動なのに、なぜその改善が難しいのだろう。

実は、普段慣れている動作ほど、その動作に対する神経支配がしっかりとできあがっているからだ。運動の技術やフォームを改善することは、その運動を支配する神経回路を組みかえることになるので、そう簡単にはいかない。

コーチは、腕の振り、膝の運び方、上体の前傾の取り方など、フォームを矯正しようと指導し、指導を受けるランナーも指摘された体の動きの修正に意識を向けてトレーニングするのが普通である。しかし、動作の修正には多くの時間と繰り返しが必要であり、またその効果が上がらないことも多い。そして、トレーニングの効果が上がらない人は、「運動神経」が良くないということになる。

この場合、運動技術の修正は、「運動の神経回路を修正する」ことであると考えることによって、解決の糸口が見つかる。

スポーツ技術や「身のこなし」の習得には、神経回路に直接的に刺激を与えるようなトレーニング上の工夫が必要である。

工夫をいろいろと重ねるうちに、「動作をイメージし、それを体感する」ことが、運動の神経回路を改善するのにきわめて有効であることがわかってきた。

(小林寛道『運動神経の科学—誰でも足は速くなる』講談社による)

(注1) 神経回路：ここでは、神経をつなぐ仕組み

(注2) 矯正する：正しくなるように直す

(注3) ランナー：走る人

(注4) 糸口：きっかけ

(注5) 身のこなし：体の動かし方

66 「速く走る技術」はなぜ①身につけることが難しいのか。

- 1 走るフォームは一度固定されると変えられないから
- 2 走るフォームを指導する方法があまり改善されていないから
- 3 走るための神経の仕組みはすでにできていて変えにくいから
- 4 走るための神経の仕組みは他の動作とは違う特殊とくしゅなものだから

67 ②この場合とはどんな場合か。

- 1 練習に十分な時間が取れない場合
- 2 練習の効果がうまく現れない場合
- 3 走り方の改善に集中できない場合
- 4 コーチの指導が理解できない場合

68 筆者によると、「速く走る技術」を身につけるにはどうすればよいか。

- 1 速く走る動きを頭に描えがいてその感覚を体で感じるようにする。
- 2 神経の仕組みに直接刺激を与えるためにいろいろな走り方を試す。
- 3 頭で考えるよりも、何度も練習を重ねて体で覚えるようにする。
- 4 コーチの指導を受けながら走り方の修正に全神経を集中させて走る。

問題12 次のAとBはそれぞれ、これからの車社会について書かれた文章である。二つの文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

A

今日、多くの国々で、地球環境に配慮（注）した車が求められている。そのような中でガソリンではなく電気で走る自動車が登場したが、まだ値段も高く長距離を走ることも難しい。また、充電する場所も限られるために、電気自動車に乗る人はそれほど多くない。

しかし、近い将来、それらの問題も技術の進歩によって解決され、やがてはより身近で一般的な乗り物になっていることが考えられる。また、電気自動車は構造が複雑ではないため、一人用または二人用の小型のものならば、個人で製造できる可能性もあるそうだ。数十年後には一人一台電気自動車を持ち、全国どこへでも行ける時代が訪れるかもしれない。

B

今や自動車は私たちの生活になくてはならないものになっているが、環境への意識が高まるにつれ、車に対する人々の考え方が変化してきている。その結果、電気自動車が、走行時に二酸化炭素を出さず、騒音も少ないことから、環境に優しい車として注目を集め、徐々に利用者も増えている。また、カーシェアリング（注）といって、一台の車を複数の人で使用するというシステムも整ってきている。このような傾向が続けば、個人で車を持つ必要性は薄れてくるだろう。十年後、二十年後はガソリン車が姿を消し、電気をエネルギーとする車を数人で一台利用している、そんな時代が来るかもしれない。

（注）～に配慮する：～を大切に思っているいろいろな考慮する

69 AとBのどちらの文章にも触れられている点は何か。

- 1 電気自動車所有^{じょうきょう}状況の予測
- 2 人々の電気自動車に対する関心の高さ
- 3 今後開発される電気自動車の新機能
- 4 現在の電気自動車が環境に与える効果

70 AとBの筆者は、車社会の今後の可能性についてどのように考えているか。

- 1 AもBも、車の台数はさらに増え、人々の生活に不可欠なものになるだろうと考えている。
- 2 AもBも、車の技術はますます進歩し、環境を意識した車が手軽に利用できるようになるかもしれないと考えている。
- 3 Aは電気自動車の利用者が増えると考え、Bは電気自動車の普及に加え利用の仕方も変化するだろうと考えている。
- 4 Aは電気自動車の技術が向上すると考え、Bは将来個人で電気自動車を所有することになるだろうと考えている。

問題13 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

私は食べ物については好き嫌いが多いが、研究テーマや人間関係についてはあまり好き嫌いがない。ところが、いろいろな人と話をしていると、意外に好き嫌いがあるという人が多い。この研究は嫌いとか、この人は好きじゃないとかよく耳にする。しかし、どんな研究にも視点を変えれば学ぶところは必ずあるし、人間も同様に、悪い面もあればいい面もある。やって損をするという研究は非常にまれであるし、つきあって損をするという人間も非常に少ない。

科学者や技術者であるなら、発見につながるあらゆる可能性にアンテナを伸ばすべきで、そのためには、好き嫌いがあってはいけないように思う。研究の幅や、発見につながる可能性を大きく狭めてしまう。

ところで、そもそも好き嫌いとは何だろうか？

自分の研究分野は、理系であることには間違いない。しかし自分でも、理由があって理系の道を選んだとは思えない。単なる偶然の積み重なるの結果なのだ。

「自分の好みや得手不得手で選んだ」とあとから言うのは、その偶然の選択に何らかの理由を与えないと、あとで悔やむことになるからだと思う。たとえば、理系の道を選んで思ったような成果を上げられなかったとき、「なぜ文系の道を選ばなかったのか」と思うような後悔である。遠い過去にさかのぼっていちいち後悔しては、その時点の目の前の問題に力を注げず、前向きに生きていくことはできない。

そう考えると、好き嫌いや感情というものは、偶然の積み重なりで進んでいく人生を自分なりに納得するためにあるようなものと言えるのではないか。好き嫌いや感情は、無意識のうちに、自分を守るために、自分を納得させるために、都合よく持つものなのだろう。

感情や好き嫌いは元来人間に備わっているものであるというのは間違いないが、人間は、十分な理由がないまま行った自らの行動を、納得し、正当化するためにも、感情や好き嫌いを用いる。人間は、他の動物にはない、そんな感情や好き嫌いの利用方法を身につけているのかもしれない。

(石黒浩『ロボットとは何か一人の心を映す鏡』講談社による)

(注1) 狭める：狭くする

(注2) そもそも：もともと

(注3) 得手不得手^{えてふえて}：得意不得意

(注4) 元来：初めから

(注5) 正当化^{せいとうか}する：ここでは、間違っていなかったと思う

71 好き嫌いがあってはいけないと筆者が考えているのはなぜか。

- 1 どんな研究であっても、役に立つ新しい発見につながられるから
- 2 どんなことでも、自分の研究に役立つものがあるかもしれないから
- 3 好き嫌いで判断することによって、悪い面に気づきにくくなるから
- 4 嫌いなことには、自分が気づかない重要なことが隠されているから

72 筆者は、どうして理系に進んだのか。

- 1 文系が得意ではなかったから
- 2 自分の気持ちに従ったから
- 3 特に嫌いではなかったから
- 4 たまたまそうなったから

73 筆者は、好き嫌いとは人間にとってどのようなものだと考えているか。

- 1 自分がこれからとる行動を決める時のきっかけになるもの
- 2 自分が前向き^{まえむ}に生きていくために意識的に利用しているもの
- 3 自分の研究や仕事がうまくいくように普段は抑^{おさ}えているもの
- 4 自分の行動や選^{せんたく}択が間違っていなかったと思うために用いるもの

問題14 右のページは、A社とB社の海外引越サービスの案内である。下の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

74 チャンさんは来月帰国する際に、A社を利用して引越をする予定である。荷物が10箱以上あるのでなるべく安い料金で送りたいが、そのうち帰国後すぐに使うものが入った5箱は料金が少し高くてもいいので早く着くように送りたい。チャンさんはどうしたらいいか。

- 1 急ぐものはプラン①で、その他のものはプラン②で送る。
- 2 急ぐものはプラン①で、その他のものはプラン③で送る。
- 3 急ぐものはプラン④で、その他のものはプラン②で送る。
- 4 急ぐものはプラン④で、その他のものはプラン③で送る。

75 会社員の有田さんは3ヶ月後に海外支店に転勤することになった。一緒に行く家族は外国での生活が初めてなので、日本語で対応してもらえて、なるべく楽なプランを利用したいと思っている。有田さんはA、B両社のどのプランを検討したらいいか。

- 1 A社のプラン①とB社のプランⅢ
- 2 A社のプラン①とB社のプランⅣ
- 3 A社のプラン②とB社のプランⅢ
- 4 A社のプラン②とB社のプランⅣ

A 社 海外引越サービス プラン比較

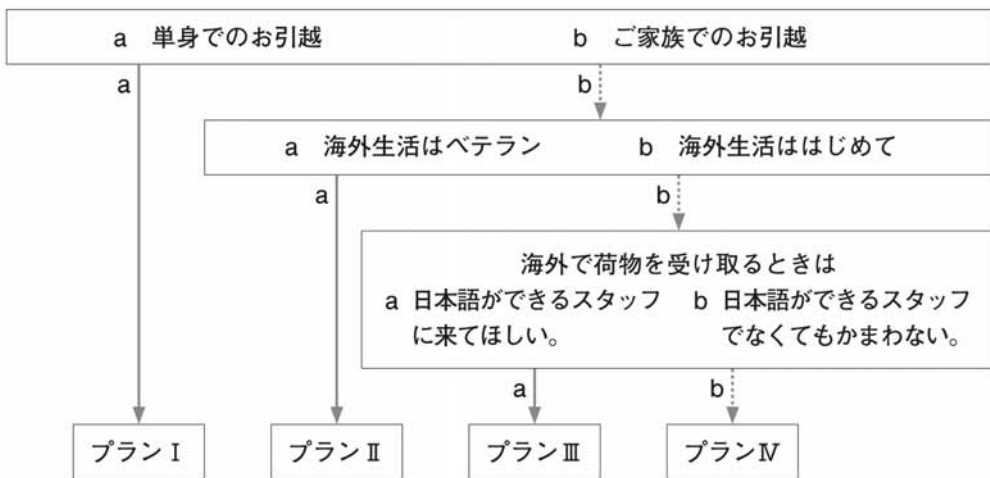
	プラン①	プラン②
こんな方に	・荷物が多い方 ・手間をかけたくない方	・荷物が少ない方 ・手間をかけたくない方
荷造り	当社スタッフが行います	当社スタッフが行います
荷物量	Mサイズ10箱以上	Mサイズ10箱未満
料金	1箱12,000円～	1箱15,000円～
	プラン③	プラン④
こんな方に	・予算を抑えたい方 ・必要なサービスだけ利用したい方	・荷物が少ない方 ・早く荷物を受け取りたい方
荷造り	お客様ご自身で行ってください	お客様ご自身で行ってください
荷物量	Mサイズ5箱以上	Mサイズ5箱まで
料金	1箱10,000円～	1箱15,000円～

- ・料金には、荷物の日本でのお引き取り、輸出入税関手続き、海外でのお届け費用を含みます。
- ・プラン①は、海外での荷物のお届けの際に日本語がわかるスタッフがうかがうので安心です。
- ・プラン④のみ、他のプランに追加してのご利用が可能です。

B 社 海外引越サービス プラン診断

お客様の状況やご希望に合わせて、最適なプランをお選びします。

(以下はすべて、当社のスタッフが荷造りからお手伝いする「らくらくプラン」になります。)



- ・以上の診断結果だけでなく、各プランの詳しい内容をご確認のうえ、お申し込みください。
- ・プランⅢ、Ⅳをお申し込みのお客様は、当社主催「海外生活情報セミナー」にご招待いたします。